

臨時号

発行責任者
幕張ベイタウン協議会
www.bt-machi.com

幕張ベイタウン 協議会

NEWS

ゴミ・空気輸送 市が運営引継ぎ 住民に負担求めず

千葉県と千葉市は、千葉県企業庁が運営してきた「ゴミ・空気輸送システム」を2015年度末までに千葉市が引き継ぐ方針を明らかにしました。運営コストは市と県が負担し、住民には負担を求めないことになりました。幕張ベイタウン協議会は、各街区の管理組合理事長らが参加する検討会を開いて「住民負担は納得できない」とする意見書などをまとめ、県企業庁や市に提出するなどの活動を継続。今回の方針は「こうした住民の言に配慮した方針となりました」。

運営費など県・市が負担

市の方針は、12月の定例市議会の代表質問で、小松崎文嘉議員（自民）の質問に徳永幸久副市長が答える形で明らかになりました。答弁によると、①システムを維持するための改修費や、システムを廃止する場合の「コスト」は県が負担②運営にかかるとして、市はベ

イタウンで発生するゴミの収集・運搬経費相当額（約3400万円）を負担する一予定です。県も定例県議会で、市が運搬費用相当額、県が改修などそれ以外の費用を負担する方針を表明しました。河野俊紀議員（民主）の質問に答えたものです。

ゴミ問題、これまでの経緯

- ▼12年9月 企業庁が住民負担の導入を説明
- ▼10月 管理組合理事長ら参加の第1回検討会
- ▼11月 企業庁・千葉市に「質問書」提出
- ▼12月 「質問書」に企業庁・千葉市が回答
- ▼13年1月 第2回検討会
- ▼同月 「意見及び再質問」を提出。
- ▼3月 「意見及び再質問」に企業庁・千葉市が再回答
- ▼同月 第3回検討会
- ▼6月 企業庁・千葉市に「意見書」提出
- ▼12月 企業庁・千葉市、千葉市による運営引継ぎの方針表明

県と市は、今年度中の最終的合意を目指して、協議を進めます。

ベイタウンを開発した企業庁は、県の方針によって開発事業主体としての役割を終え、整備してきた

た公共施設を千葉市に移管する作業を進めています。ゴミシステムについては、年間約9000万円の赤字経営が続く、この赤字を誰が負担するかが問題となっていました。

住民一体の成果

幕張ベイタウン協議会
会長 遠山 孝行

皆様、いつも幕張ベイタウン協議会の活動にご理解とご協力をありがとうございます。

「ゴミ・空気輸送システム」に関する住民負担問題は、県企業庁が昨年9月に各管理組合に向け開催した説明会で、同システムの維持管理に住民負担を求める旨を打診してきたことで明らかになりました。

協議会では、街の今後のため、住民の皆様幅広く参加を呼びかけ、3回に及ぶ検討会を開催。住民の立場で「論点」を整理し、県企業庁及び市に対する「質問書」などの提出を経て「意見書」を取りまとめ、「住民負担を求められない」旨を表明しました。さらには、全住民に

対する説明を求めました。今回、県及び市の議会でも「ゴミ・空気輸送システム」の管理を市が引き継ぎ、運営経費・改修費などについて、住民負担を求めない方針が示されました。

これは、多くの方々が検討会に参加され、熱心に議論し、住民が一体となつて取り組んだ成果だと認識しております。改めて皆様に感謝します。

私達が暮らすこのベイタウンは先進的なまちづくりを実現した街です。今回の問題は、街の今後の維持管理問題の一部ではありますが、ありません。協議会は、引き続き街の維持管理体制（「管理運営機構」）の構築、景観の維持、未利用地の活用、公共施設の管理等の諸課題について、皆様とともに取り組んでいきたいと考えています。ご理解、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。